

令和2年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

( 中間・最終 )

白岳中学校区 校番 3 学校名 呉市立白岳中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***  確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能を習得させ思考力・判断力・表現力の育成を図る	<p>①生徒が主体的に学ぶ授業づくりを行う。</p> <p>学習観をレベルアップさせ、自律した学習者を育てる。</p>	<p>感染予防対策のため、ペア・グループ等を活用して理解を深める活動はできていない。 定期試験前の学力補充については、補充プリントを配布したり、放課後学習を行ったりするなど、1学期から継続して行うことができた。</p> <p>JCノートを活用した家庭学習はほぼ定着しているが、内容については課題が残る生徒もいる。学び方5については、十分な取組ができなかった。学年×15分以上の家庭学習は、定期試験の計画表などの指導により、目標値を上回ることができた。学校推薦図書を月1冊以上読む生徒の割合も、増加している。学級文庫を充実させたことが、要因の1つであると思われる。ただ、読書経験を生かすような文章表現・想像力に結びつけることができていない生徒は少ないように思われる。</p>	<p>定期試験前の学力補充については、今後も継続して行っていく。また、家庭学習ノート『JCノート』を活用した主体的な学びを継続していく。</p> <p>JCノートの提出については、今後も継続して指導を行うとともに、個々に応じた指導も粘り強く続けていく。学び方については、授業での意識付けを意図的に行っていく。家庭学習については、テスト計画表や学習時間チェック表などの指導を充実させる。読書について、読書経験が生かせるような表現ができているときはしっかりと評価していく。</p>
**  豊かな心	話し合い活動の中で自己決定能力を高め、規範意識を身につけ、認める・ほめる指導により、自尊感情を高める。	<p>ルールやマナーなど規範意識を身につける指導の徹底を図る。</p> <p>キャリア教育を充実させ、明確な夢や目標を持つ生徒を育成する。</p>	<p>ルールやマナーを守って生活している生徒の割合は、中間結果と同様に、目標値を達成することができた。着ベル運動や無言清掃チェック表の実施などにより、生徒の意識を高めることができたと考えられる。生徒会や委員会主体で取り組みを進めることができた。</p> <p>感染防止対策のため、話し合い活動を行うことはできなかったが、中間結果と同様に目標値を達成することができた。1学年は、部活動や定期試験を通し、周りを見て行動することができるようになった。2学年は、修学旅行や最高学年になる意識が芽生え、自ら考え行動することが出来るようになってきている。3学年は、進路を通して将来の夢や職業について考えることができた。</p>	<p>着ベル運動や無言清掃チェックなどの規範意識を高める運動を引き続き進めていく。また、これらの取り組みの他にも、ルールやマナーを定着させるような取り組みを考えて行っていく。</p> <p>学級活動や行事の中で自分の将来や進路に向けて考えるような活動を仕組み、学級としての成長を個人につなげていけるように取り組む。</p>
*  業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	<p>児童生徒と向き合う時間の確保</p> <p>長時間勤務の削減</p>	<p>教職員アンケートの結果、生徒と向き合える時間が確保できていると回答している職員は74%であった。中間より16ポイント低下した。夏季休業が大幅に短縮されて、生徒が学ぶべき授業内容を全て行うことに主眼をおいて取り組んだことやコロナ禍における先行き不透明なことが負担になったと考える。</p> <p>毎月の時間外勤務の集計により、9月以降は、毎月ほぼ6、7名の45時間越の職員がいるのが実態である。学校行事、対外的な行事も中止になる中、コロナ対策を行いながらの学校運営ということもあり、退校が遅くなる職員がいた。</p>	<p>本来なら、9月以降、指導内容の完全実施に主眼を置き、概ね年度末までには、終える見通しが立った。従って、業務の軽重を付けながら、次年度の準備を計画的に行い、生徒と向き合う時間の確保をしていきたい。</p> <p>計画的な学校運営を心がけていながら、先行きの見えないコロナ対策により、難しい局面ではあるが、思い切った、現実的な業務の見直しを行って行く。</p>